

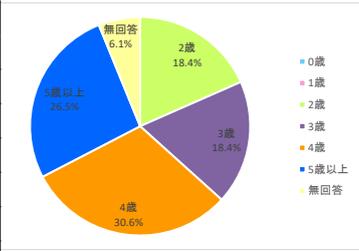
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月1日

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール奈良香芝

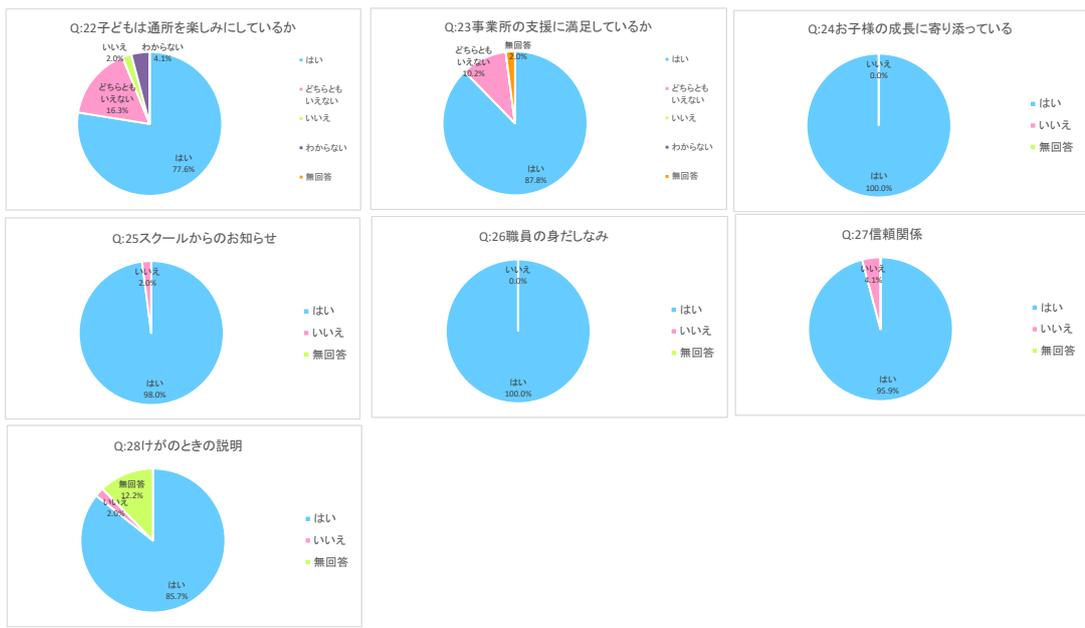
保護者等数(児童数) 55 回収数 49 割合 89.1%

年齢構成	人数	割合
0歳	0	0.0%
1歳	0	0.0%
2歳	9	18.4%
3歳	9	18.4%
4歳	15	30.6%
5歳以上	13	26.5%
無回答	3	6.1%
合計	49	



	チェック項目	割合					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	81.6%	14.3%	0.0%	4.1%	0.0%	少し狭いように感じる。	面積スペースに限りがありますが、引き続き安全を確保しながら療育室を十分に活用して参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	91.8%	4.1%	2.0%	0.0%	2.0%	・作業療法士の方と個別で会ったことがない。また、担当にあたる回数が増減に少ない。 ・介護福祉士は指導員として適応されるか疑問に思う。 ・保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の先生は何を考慮、個性を知らずとしない。	職員体制につきましては、作業療法士常駐ではないことをご理解いただければと考えます。 支援方針、療育方針を踏まえたチーム療育の一員として職員採用をしております。引き続き、お子さま一人ひとりの見立てをスクール全体で取り組み、そのお子さまに合った支援を心がけて支援に取り組んで参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	77.6%	16.3%	2.0%	4.1%	0.0%	2階への移動が通所当初は辛いときがあった。	階段に設置の手すり、滑り止め等も活用しながら、必要に応じて職員がお手伝いしながら、今後もお子様の安全確保に努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	95.9%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	93.9%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	いつもはありがたいくらい丁寧ですが、1回でも沿ってないと思えば、それまでです。	引き続き、一人ひとりに合わせた教材、お子さまが楽しみながら取り組める活動を取り入れ、お子さま、保護者様に寄り添った支援を行ってまいります。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	93.9%	4.1%	0.0%	0.0%	2.0%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が	28.6%	14.3%	38.8%	16.3%	2.0%		
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわら及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	91.8%	4.1%	2.0%	2.0%	0.0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング*4等)が行われているか	63.3%	16.3%	2.0%	18.4%	0.0%		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	95.9%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%		
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	85.7%	10.2%	2.0%	2.0%	0.0%	どうしても時間に限りがある。	お子様の集中力の持続時間、保護者様の同席頂く時間等も鑑みて、現在のセッション時間に設定させていただいております。限られた時間の中で最大限の支援をしていきたいと存じます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12.2%	12.2%	44.9%	28.6%	2.0%		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	81.6%	10.2%	0.0%	8.2%	0.0%	不安な事や、気になる事を相談させてもらったら、すぐに対応して頂いている。又、相談しやすい環境を作って頂いている。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89.8%	6.1%	2.0%	2.0%	0.0%	年間スケジュールがほしい(カレンダーに通所日の印をしたもの)	祝日や連休に定期利用日が重なった場合などは、事前にお声掛けをさせて頂いたり工夫をしておりますが、通所回数が少ない利用者様には、月間カレンダーをお渡しすることを今後検討して参ります。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22.4%	14.3%	12.2%	49.0%	2.0%		
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	83.7%	2.0%	0.0%	14.3%	0.0%		
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知、説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	91.8%	6.1%	0.0%	2.0%	0.0%		
非常時等の対応	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	79.6%	14.3%	2.0%	2.0%	2.0%		

	チェック項目	割合					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	77.6%	16.3%	2.0%	4.1%	0.0%	・今はうまくいっていると思うが、2、3ヶ月前までは保育所より、通所後の園での様子や通常の様子とは違い、教育の内容が合っていないのではないかと指摘をもらっていた。今は本人が以前よりもプログラムに沿うことができる部分が増え、落ち着いてきていると感じている。ただ、成功体験をしたという気持ちには、なかなかないのかなと思う。本人の成長もあるが、できた、楽しかったがもつと感ぜられると思ふ。 ・入るときは泣いているがセッション中は楽しくできている。 ・スクールを楽しみにしているみたいで、特に土曜日の集団が好きようだ。	お子様と保護者様の安心・安全を第一に、これからも一人ひとりに合わせた教材を選び、お子さまが楽しいと思えることを大切に、活動に取り入れていきたいと存じます。 今後も職員間の話し合いの時間をもち、支援に努めて参ります。
	23 事業所の支援に満足しているか	87.8%	10.2%	0.0%	0.0%	2.0%	支援には満足だけど時間が短くせわい感じがする。	限られた時間の中で、今後も最大限の支援をしていきたいと存じます。
その他	24 お子様の成長に寄り添っていると感じられますか。	100.0%	0.0%	0.0%				
	25 スクールでのお子様の様子やスクールからのお知らせはわかり易く説明されていますか。	98.0%	2.0%	0.0%				
	26 職員の身だしなみに清潔感があり、笑顔で接していますか。	100.0%	0.0%	0.0%				
	27 家庭とスクールの信頼関係はありますか。	95.9%	4.1%	0.0%			距離を感じる事が多い。	利用者様とのコミュニケーションを大切に、楽しく、安心して通って頂けるスクールづくりに努めて参ります。
	28 けがのとき、明確な説明が受けられていますか。	85.7%	2.0%	12.2%			けがをしてないので分からない。	怪我をすることがないよう、安心・安全な場所であることが大前提と考えています。これからも怪我や事故の防止に努めて参ります。



*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。
 *2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
 *3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせずて実施されることが想定されている。
 *4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた姿の方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。